



広報

かじき

第135号 (特集)

43・3・30発行

発行所 加治木町役場

発行者 曾木隆輝

担当者 向江 巧

編集者 中元邦夫

印刷所 吉屋印刷

全ご家庭に、もれなく配布



## 網掛橋ができました

網掛橋の掛け替え工事は、昨年9月から工事をすすめていましたが、このほどりっぱに完成しました。

3月26日午前10時、打ち上げ花火と共に開通式を行ない、鹿児島国道事務所長と町長が、紅白のテープにハサミを入れると、関係者やつめかけた大ぜいの町民たちから拍手が起こり、この網掛大橋の完成を祝いました。このあと町内於里の二見矢熊さん、勲さん、純一さんの三代夫婦が渡り初めを行ない、多くの町民が喜びを

新たに、長い列をつくり後に続きました。

完成した橋の長さは60.8メートル、幅17.8メートル、橋の両側には3メートルの歩道が設けられておりこれからは、歩行者は安心してとおることが出来ます。国道工事事務所の話しでは、仮橋やう回路の整備等を含めて総工費約1億円ということです。

色とりどりの万国旗や三角旗でうずまった西町や向江町は、半年ぶりにもとのにぎやかさを取りもどしました。(写真は開通式から)

# 43年度など議案23件を上程 当初予算

## 人材開発など五項目

### 町長所信を表明（原文のまま）

#### 定例第一回町議会

只今、上程せられました議案の三予算について、ご審議いただくにつぎまして、新年度のわたくしの行政執行についての所信を表明いたすとともに、予算案の概要について説明を申し上げたいと思っております。

### 施政方針

戦後、新地方自治法その他、各法律が制定せられましてこの約二十年余の間、本町執行部も議会も一体となって、地方行政の実をあげるのに力を注いでまいりましたし、また町民の皆さんは限りない実行力と忍耐により、いわゆる村づくりにご努力いただき、今日、本町々政の一応の基礎は築かれたといえると思っております。

### 本町の現況

今日、本町人口もわずかづつではありますが、年々増加の形にご

ざいます。四十一年十一月、一万九千百三十三人が、四十二年十一月に一万九千三百六十五人になっておりますし、四十二年二月一万九千四百四十四となっております。

この数年の間に本町にごいす各官公署、学校、銀行、商社、あるいは個人住宅等の新築、あるいは増築等も行なわれまして、工場等の進出もありました。昨年中一般住宅も百三十二戸の新築がなされておりますし、また三百十二の増築もなされている状況でございます。近日中、昨年進出を見ました八幡化学、あるいは当地に建設されることになりました家畜保健所の落成式もある由でございますし、また問題の網掛橋の完成も迫っていて町の内外の様相も、だんだん整ってまいりますこととはご同慶に存じます。

さらに新年度に入りますと、労働基準局、電報電話局、加治木療

養所等の増築も行なわれ、あるいは加治木警察や九電等も考慮中と承っております。かくして本町の内容も充実してくるものと思っております。

片や縦貫道の着工に伴いましてインターチェンジ、これとの連絡道路との配慮、港湾、空港、鉄道電化といった問題も次々に出て参ることは必至であります。これがまた必然的に本町あるいはその周辺各地の産業、特に農業や商業の近代化を促進し、同時に各種企業の進出等も考えられますので、こちらで本町は新しい時代への発足の時が来たと申すべきで、明治百年を期して新しい加治木への行く手に対する町民の心構えをすることが肝要である、こう考えるわけでございます。

町民経済状況をながめますと、昨年の実体はもちろん、一部の方にはお気の毒なかも出ておりま

すが、農業、営業、給料生活者とも総体的に平均してみますと、十パーセント以上の伸びを示しておるようでありまして、まずまずの伸びであったと、こう考えるわけでございます。

### 新年度の重要施策

そこで本町行政新年度の水準も一段と高めて行かねばならんと考えるわけですが、人間と物との調和、いい換えれば内容と形との均衡のとれた発展ということを念頭において、将来のこを見とおしながら、行政を推し進めて参らねばならぬと考えております。

よってこういうような考え方から、一応スローガンとして次の五つを打ち出して見ました。

- ①文教施策の向上による人材開発
- ②道路網の整備と土木事業の推進
- ③産業の近代化
- ④住民福祉の増進
- ⑤環境の開発

と、これだけあげました。以上申し上げました五項目を柱としたいと思うわけでございますが、これをそれではどういふふうに具体化して行くかという概要を申し上げたいと思っております。

一、まず文教関係でございますが、文教施設をできるだけ整備し将来の祖国を担うりっぱな社会人に育て上げるための素地をつくることに精いっぱい努力をいたしたいと思っております。

教育委員会が打ち出しました考え方、予算をできるだけ取り上げ

て行きたいと考えるわけでございす。次の点をまず考えることにしました。

○施設内容いたしましたして錦江小の教室増築や特別教室開設。柘城小プールの脱衣場を考える。中野小倉庫の建築をやる各小中学校の教材や備品の整備をやる。

○教育と人材開発でございますが学力向上のための対策をできるだけ推し進めて行く。それから教師の研修をできるだけ行ってもらおう。奨学資金の貸付月額をふやして、もう少し余計、金をお貸しして金に困っている優秀な、かたがたの勉学に便宜をあたえる。健康を増進する対策、またスポーツを盛んにする。

○公民館活動をいっそう強化して行く。

- (1)特に本年から従来やってまいりました地区世話人という制度を地区公民館長に委嘱し、これらのかたがたに対する経費は、公民館関係に移して、公民館活動を主とした世話人の活動をお願いする。そして、すなわち社会教育に力をかりると次に
- (2)社会体育にもっと力をそそぎ町民の健康づくりを考える。
- (3)青少年育成あるいは青年団、婦人会活動の充実をはかり、一方また農村その他の結婚難の相談をもっと直接助成、あるいは協力する。
- (4)図書館活動や文化活動にさらに努力するが、本町は特に努力



開かれた定例第1回町議会

するが、本年は特に明治百年にも当たるし、いろいろ県でも計画がございするし、また一方では大昔、加治木の基を造ったという島津義弘公三百五十年祭にも当たりますので、これらの面も予算の配分を考えて、本町の文化水準の向上に役立たせるというのが、文教の關係でござ

います。  
二、といたしまして道路網の整備及び土木事業の推進でござい  
ますが、  
○ 高速自動車道と国道十号線、あるいは加治木、栗野線の県道、こういうものを骨とした新しい道路計画、つまり都市計画を今年には作成いたしましたして、新年度

のまもなく行なわれますが、市の計画の審議会に持ち込むような手配をいたします。  
○ それから加治木港の改良をできたら本年から着工いたすと、これはちよつと付け加えますが、まだ本省の方でも決まっておりますが、本日運輸省から当町に調査にこられるはずになっております。これらを通じてできるだけ本年から改良を見込む。  
○ 県道護国神社港線を本年度続行してやる。  
○ 墓地公園の用地買収は、四十三年度中にすませる予定でござい  
ます。一部残るところもある  
と思ひますが、新年度は道路等にも手をつける。移転問題とは別途に新しい墓地を作るような工夫をしよう。  
○ 西別府線の改良を今年度もだいたい継続してやる。  
○ 住宅建設や災害復旧は従来どおり進める。そして  
○ 失対による乳割舗装と一般土木のコンクリート舗装および排水暗きよ等町内各所に行なわなければならぬところがたくさんございしますが、その内をできるだけ可能な限り、そういうような舗装あるいは改良等をやることに幸に、グレーダーを購入することができまますので、これは追加予算で出しておりますが、これをフルに利用し、道路の整備にあたることにいたしたいと思ひ  
ます。  
三、として産業の近代化でござ

います。そのうちの  
○ 農業改善事業でござい  
ますが、従来進めてまいりましたが、最終年度として西別府のミカンを考えているわけでござい  
ます。これをぜひ一つ推進したい  
それから高峠地区の壮蚕飼育所  
あるいは石野地区の集団桑園を  
やるというようなものを本年は  
考えて行く。  
○ 農道、干排事業は町の補助および県単で押し進めて行くし、また一方従来やつております地籍調査の仕事もそのまま進めて行く。  
○ 畜産、そ菜田芸あるいは、タバコは引き続き農家の所得等のために、いろいろ工夫しながら進めて行く。  
○ 竹林関係あるいは、しいたけ栽培を考えて行く。  
○ 本年から米づくりにも、もっと農家のかたがたに、ご勉強ご理解願って努力をしていただく。  
現在の米の反収がだいたい平均四百五キロつまり二石七斗ぐらいしかございませぬものを、五か年間に六百キロ、だいたい四石平均にはどうしても持つて行くように指導する。それがために、共同の苗床から、共同防除といろいろ手段はござい  
ます。そういうことを予算的にも考えて指導して行つて、農家のほとんどが作つております米をもっといいものをたくさん作るような工夫をさせるといふこと  
でござい  
ます。

○ 商業関係も決して今後、容易でない時代に近づきつつあると思ひ  
ます。そこで、できるだけ近代化へ考えてもらふということに商工会等と力を合わせてお進めすると、特に加治木の購買力の培養ということが必要だと思ひ  
ますので、諸行事を加治木で行なうように各部門で考えて、多くのかたがたが加治木で買物をしていただいで、商店の収入増を配慮して行く。去年やつていただきました、夏祭りについては、さらに工夫してこれを  
実行するといふようなこと  
でござい  
ます。  
四、といたしましては住民の福祉の増進でござい  
ます。○ 住民税については、国のいろいろな指示もござい  
ますので、できるだけ国の指示どおり減税して適正な課税もして、町内の物価対策を引き続き考えて行く。  
○ 二としては、やはり町民の負担でござい  
ます。  
国民健康保険税は税率は動かさない。その一方でインフルエンザの注射でござい  
ますとか、血圧の検査、検便とか、その他でできるだけこの補助的なことも考えて負担を軽くするとともに、健康管理といふことにも国保で考えて行く。そして被保険者へサービスをして行くといふわけでござい  
ます。  
○ 三として、町民の保健栄養の向上のために、指導体制を作りた  
いと考へ  
ます。

予算はきわめてわずか当初でございまして、考えておりますが婦人会、保健所等いろいろな打ち合わせまして、町民の栄養の面にもう少し、ご注意をいたたくような指導をして行こうと、というような考えかたでござい

○四として老人対策の一助として老人家庭奉仕員制度を採用することにしたいと思ひます。  
 ○五として、消防あるいは防火体制をさらに強化して行きたいと思ひます。  
 ○六として、福祉会館と公民館とを合わせたようなものになりませんが、これの建設をせひ、今年度から実施する。

○五として環境の開發でござい

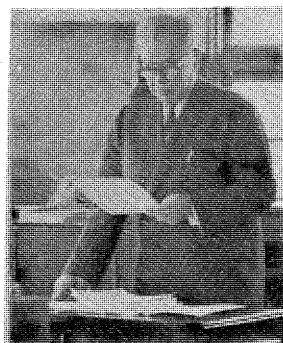
○別途に民法上の公社をつくつて宅地造成やその他、総合グラウンド等を何かこれに役立つ仕事を、町の代行機関みたいになか

○二として、衛生協会と協力して町内の「カ・ハエ」の駆除、特に発生源をなくするよう努力する。  
 ○三として、町内美化のために、これは公民館、経済課等と力を合わせて花いっぱい運動を起

○四として、し尿処理場の施設の運営を一段と向上せしめ、今後じんかい（塵芥）処理場、火葬場問題等について、関係町と協議して、これらの解決の道を見

いだして行こう。次に  
 ○五として、水道事業は今までは少し行き方が変わつてまいりますが、この事業を公営企業としてはあるわけですが、特に一つ、運営に支障のないように、この事業を強化して行こうというよう

所信を発表する町長



一般会計の

予算編成に当たつて

新年度の予算編成に当たりまして、最近のわが国の経済の動向を見ますと、昨年来、設備投資の増勢を中心に国内の需用圧力がたかまりを示しましてその結果、国際収支は赤字基調の度を強め、加えて昨年以降は英国のポンド切り下げ、米国のドル防衛策が実施され

るなど、わが国内外の経済諸情勢はまことにきびしいものがありま

これらの事態に対処するために政府は、国債や政府保証債の発行予定額を減額いたしましたり、公共事業の一部を繰り延べましたりあるいは、二回にわたる公定歩合の引き上げなど、財政金融両面から所要の調整措置を講じましたことは、ご承知のとおりでござい

特に、国の昭和四十三年度の現在、国会にかかつております予算案を見ますと、景気に対する抑制的基調を堅持して、近年硬直化の度合いが高まつてまいりました財政の体質改善に極めて厳しい積極

ごいまして、これが引きしめを強調しては、すでに皆さまご承知のとおりでござい

したが、いま、地方財政もこの国の基調にいろいろな点で、非常な影響を受けているわけでありますが、現行制度をもとにして、わたくしどもといたしましては健全財政はやはり続けてまいりませんと、たいへんなことになると考えますので、これに堅持しながらしかし一方では可能な限り諸政策を積極的に予算化して行こうという態度を取つたわけでございます

考え、公共事業や単独事業についても一応可能と思われるものはそれを計上し、今後、国や県の予算財政計画が決定しましたならばまた、予算化の要ありと認められるものは、今日予算化の必要がある

開発公社を設けたい

とくに本年度、留意いたしました

た点は、これからとくに重要な意義をもつのはやはり、開発行政であろうと思ひます。そこで私は先に申し上げましたとおり、本町に民法上の開発公社を設立したいということで、数か月前からいろいろ研究もいたさせておりますが、これによつて公共的な諸事業、とくに土地の購入造成、福祉施設の建設、資本の導入等の諸事業を積極的に推進して参りたいと思つたわけでございます。そして、ここに計上いたしました予算は、総額三億三千七百七十七万一千円となっております。昨年初予算に比しまして一〇八・四パーセントとなつております。これ等の伸び率が、そう伸びていないではないか、ということになるかと思ひますが、これは農業構造改善事業が昨年に比して減つてきたと、その他は順調に伸びていると、私は思つております。この予算の中で、やはり人件費

歳出のあらまし

次に、歳出の方からほんの概要だけ、申し上げます。

議会費

議会費は、予算額が九百九十二万五千円で二・九パーセントになつております。昨年比して、百五十九万八千円の増でございますが、一般経常費でございます。

総務費

次に総務費は、予算額六千六百七十九万九千四百でございますが、昨年比して、二百九十九万五千円の増で一般経常費の他に、明治百年を記念して、今年には町勢要覽を作りたと思ひます。

それから開発公社の設立をした

それから参議院議員選挙のほか海区漁業調整委員の選挙がござい

地区世話人制度は、さきに申し上げましたように、教育予算の方に組み替へることにいたしました

▼民生費

民生費は、予算額四千五百八十九万七千円で、昨年比にして三千二百二十万九千円の増になっております。これは老人家庭奉仕員を置く。それから福祉センターの建設をだいたい二か年で予算的には考えたわけでございますが、資金操りがうまくゆきますれば、あるいは短縮される可能性もでてくると思ひます。

▼衛生費

衛生費一千四百一十二万二千円でございます。昨年に比して、二十九十一万円の増でございます。これは、各種予防接種の推進、その他、町民の栄養改善対策として助成をしたいと考えております。

▼労働費

労働費予算額二千五百五十七万六千円でございます。昨年に比して二十四万八千円の増で吸収人口延べ二万七百名として計画しております。

▼農林水産費

農林水産費でございます。予算額三千八百十三万八千円、昨年比し、七百五十四万五千円の減でございます。

減のおもな原因は、さきほど申し上げました農業構造改善事業量の減がおもなものでございます。しかし、やります事業として、稲作改善事業、各種展示ほの設置および推進、自立農家、後継者の育成、制度資金による利子の補助、農業経営診断事業、構造改善による壮蚕飼育所、共同防除施設。地籍調査の継続、今年は小山田地区でございます。

▼商工費

商工費は二百二十万二千円でございます。昨年に比して、わずかに五万円の増でございますが、ふやしております。商工会の育成や夏祭り助成、あるいは物価対策等を考えているわけでございますが、タバコ小売店助成というのが、ここでは落ちてございます。これは、今度機構が

▼土木費

次に土木費でございます。予算額は四千七十七万五千円、昨年比し、五百九十四万三千円程度、減少の原因は、市町村道路および錦江橋う回路工事が減になりましたので、こうなつたわけでございますが、しかしやります事業といたしましては、西別府線の継続事業、これはだいたい六十万円程度でございます。

▼教育費

教育費は、予算額五千六百九十九万五千円で、昨年比に五百六十四万三千円の減でございますが、減は竜門中学、永原中屋体、竜門プール、こういうのが減つてまいりましたので、一応減額のかつこうになつております。しかしながら、その一方で育英制度の充実、教材備品を含む振興費の充実、錦江校の増築、社会教育や公民館関係の充実。地区公民館制度、これは先ほど申し上げたとおりでございますが、社会体育の振興、とくに本年は、いろいろな意味で社会体育を進めたいと考えております。

▼災害復旧費

災害復旧費は、二百七十八万五千円で、昨年度、国庫債務負担行為となつた木田川の災害復旧でございます。次に鍋倉川の災害復旧でございます。

▼公債費

最後に公債費は、二千六百六十六万四千円でございますが、昨年比にして二百五十二万四千円の増となつております。元金が一千三百六十二万六千円、利子が一千三百三十五万五千円、他に手数料を多少見ております。こういうような歳出を計上いたしましたので、それに見合う歳入

▼町税

町税でございますが、予算額が八千九百四十五万九千円で、昨年比にして一千五百四十四万六千円の増で非常な増税で、先の話と逆じゃないかと思ひますが、これは昨年当初予算の見積りを多少ひかえ目に見過ぎた関係でございます。昭和四十二年度の二月末現在の調定は、八千七百五十四万九千円に対しては四・一パーセントの伸びになつておるようでございます。町民税の調定額二千九百八十八万三千円、これは自然増を五パーセント程度見積りまして、九六パーセントの徴収率を見込んで計上しております。

▼歳入のあらまし

は、どうなつておるかということ、簡単に申し上げます。

▼固定資産税

固定資産税は三千三百八十六万六千円の調定で九六パーセントの徴収率を見込み、それに滞納分を四〇パーセント程度の徴収率を見込んでおります。

▼軽自動車税

軽自動車税は二百九十三万九千円の調定を見込みまして、これも九六パーセントの徴収率を見込みました。

▼タバコ消費税

タバコ消費税・電気ガス税は、現調定額より五パーセント程度の増を見込んでおります。

▼木引

木引、都市計画税は、現在調定額程度をそのまま、見込みました。

そして、町税の総計は、昭和四十二年度の二月現在調定額の六パーセント程度の伸びと見て、それぞれの歳入を見込んだわけでございます。

なお、タバコ小売価格の引き上げの問題、電気ガス税の加治木ガス営業開始に伴う収入増等は、今後の状況を見て、補正計上することになります。

▼地方交付税

地方交付税でございますが、予算額は一億一千五百八十万円、昨年比して一千七百八十万円の増でございます。内容の説明は省略いたします。

▼分担金・負担金

分担金および負担金は、予算額四百八十九万四千円、これは昨年比して四十二万六千円の増で、保育所および農業構造改善事業のそれぞれの分担金を規定に基づいて計上しております。

▼使用料・手数料

使用料および手数料でございますが、予算額一千三百三十二万七千円、昨年比して百八十三万四千円の増でございます。これは昨年の実績によって計上いたしました。

▼国庫支出金

次は国庫支出金でございます。予算額は四千一百二十五万四千円で、昨年比して九百七十二万七千円の減となっております。これは市町村道路事業量の減が

おもなものでございます。負担金七百十二万円は保育所、小、中学校教材費および災害復旧費のそれぞれの基準額を計上いたしました補助金の三千二百八十三万八千円は老人健康診断、失業対策、市町村道整備、公営住宅、消防、教育および減税補てん債の償還補助等を規定に基づいて計上しております。委託金は国民年金および日雇健康保険の委託金でございます。

▼県支出金

県支出金は二千八十三万円で、昨年比して八百三十七万一千円の減でございます。

減のおもなものは、農業構造改善事業の減でございます。負担金二百六十四万四千円は、保育所、および母子寮の規定による補助金一千六百三十八万九千円は、それぞれの事業に基づく規定の補助額を計上しております。

▼財産収入

財産収入の予算額を百四万四円計上しておりますが、運用収入が三十六万四千円、売払い収入が六十七万六千円で、土地の貸付け利子配当金および引揚者住宅の敷地等であります。

▼寄付金

寄付金を三十九万九千円、見込んでおります。消防積込み自動車の購入について三十三万円および農委

の寄付六万円、それぞれ一般寄付金として受け入れることにしております。前者について、いろいろ問題もございまして、従来慣例もございまして、部落の方から申し出を受けて措置することにしたわけでございます。

▼繰入金

繰入金五百万円、これは財政調整基金より繰り入れることにしました。

▼繰越金

繰越金が二百七十万円でございます。四十二年度繰越しを見込んでいます。

▼諸収入

諸収入が一千九百三十三万五千円、これは国民年金印紙の売払い金、その他でございます。

▼町債

町債は二千四百三十万円計上しております。これは錦江校、公営住宅、福祉センターおよび減税補てん債を見込んだわけでございます。

以上、歳入・歳出の他に今後、国や県の子算や法令等の決定によりまして、なお補正を要するものも出てきますので、これらは県の指導等を受けながら補正して、事業は推進してまいりたいと思っております。

春

です。酒類に接する機会も多くなります。車を運転する人は、酔っぱらい運転をしないように、気をつけましょう。

ま

わりの人も、車を運転している人や運転しようとする人に、酒類をすすめることはぜひやめましょう。

あ

あなたの家族が、帰りを待っています。サア今日も一日、安全運転でネ「パーパー イッテラッシャーイ」

あなたは

四月八日午後二時を

ご存じですか...

明治百年記念講演会

講師 海音寺潮五郎先生

「明治維新史と私の少年時代」

場所 柅城小講堂

多数おいでください。